

哲学の道

西田の作品には、「日本的」もしくは「日本」ということへの言及が、時期を問わず、随所に見られます。多くは断片的なものです。まとまった論考も幾つかあります。西田によるこれら「日本的」の主張では、「世界」や「公」ということが常に意識されていました。「世界の中の日本」という観点から、西田は「日本的」の意義を考察します。

西田による「日本的」の主張の内容とその背景について、皆さまと一緒に考えていきたいと思います。

(水野先生のメッセージ)



■ プロフィール ■

水野友晴 (みずの ともはる)

1972年生まれ。2001年京都大学大学院文学研究科日本哲学史専修研究指導認定退学。博士(文学)。現在、関西大学文学部教授(哲学専修)。主な著書に、『「世界的自覚」と「東洋」——西田幾多郎と鈴木大拙』(こぶし書房、2019年)、『宗教と救済・和解の哲学』(『未来世界を哲学する』6、丸善出版、2026年、編著)、『比較思想と世界哲学』(東京大学出版会、2026年、共著(中島隆博編))がある。

テーマ

西田幾多郎「日本的」の主張とその背景

日時：令和8年10月31日(土) 9:10~12:00

主催：公益社団法人 信濃教育会

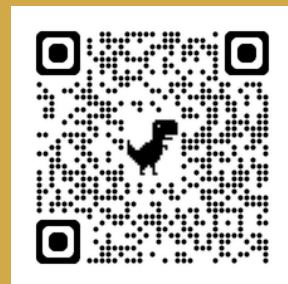
場所：信濃教育会館 講堂

申込み ① Googleフォームよりお申し込みください。

② 受講料 会員：無料 会員外：1,000円

③ 申込締め切り 令和8年10月23日(金)

お申込みはこちらから！⇒



公益社団法人 信濃教育会

長野市旭町1098 TEL:026-232-2470